



中学生まで医療費を無料化に

畑山 親弘 (市政・市民クラブ)

議員 当市は、平成十七年の合併から人口が三千四百八十人も減少している。このまま推移すると市の将来人口は五年先、十年先ほどの程度になるのか。

このような状況にある当市での少子化対策の一環として、中学生までの医療費無料化を実施する考えがあるか。

市長 現在県内十市で、この無料化を実施している市は、入院のみが一市、入通院が一市となつています。当市としては、医療費の無料化に係る乳幼児医療給付事業の給付対象について、児童の範囲はどうするか、拡大した場合の給付内容は入院のみ、通院のみ、入通院か等、市のみならず他の町村の実施状況、また今後の子ども手当の動向等を踏まえながら十分に検討していきたい。

と考えています。

企画財政部長

平成二十二年国勢調査人口速報集計結果では、平成十七年の当市の人口は六万八千三百五十九人、平成二十二年は六万六千二百二十三人、減少率は約三・三%となっております。この減少率を単純に当てはめると、五年後の平成二十七年は六万三千九百四十人、十年後の平成三十二年は六万一千八百二十九人と推計されます。

稲生川兩岸の整備計画の内容は

議員 旧国道四号の稲生橋から稲生川ふれあい公園の入り口までは、一方通行で道路幅は約十一メートルもあり、稲生川緑道として市民が歴史や憩いの遊歩道にすべきと考えますが、その整備計画はどのようになっているのか。

建設部長

稲生橋から稲生川ふれあい公園までの稲生川兩岸の市道二車線は、本年度から工事に着手し、平成二十七年までの五カ年で整備を予定しています。整備規格は、両路線とも一方通行のため、車道一車線、幅員五メートル、両側歩道及び稲生川兩岸には緑道を配置し、また歴史的景観にも配慮した計画で進めたいと考えています。



整備予定の稲生川兩岸

非常時の不安解消に 市長から情報発信を

堰野端 展雄 (高志会)



議員 災害時、市民を安心させるため、市長から直接情報発信することはできないか。

市長 三月十八日に防災メールにより「市民の皆様へ」と題して、私から当市の被害状況、断水の復旧状況、燃料確保の対応、市民への節約等の協力依頼のメッセージを発信しました。

私の生の声を発信する方法として、市ホームページや動画共有サービスなどを活用し、災害に限らず平常時でも私からのメッセージを直接配信できるように検討していきたいと思っています。

食料・物資の確保対策は

議員 災害時の食料・物資の確保対策はどのようになっているか。

総務部長 当市では飲料水や毛布等は備蓄していますが、その他の食料品や日用品は民間事業者と協定を締結し、災害時に必要物品等の提供を受けることにしています。民間事業者が被災することを考慮すると、より多くの民間事業者との協定締結が必要であるため、より多くの協定の締結を働きかけていきたいと考えています。また、今回の災害での教訓を踏まえ、今後の備蓄のあり方等を早急に検討していきたいと考えています。

当市の節電対策は

議員 市の節電対策はどのようになっているか。

総務部長 今回の災害の影響による今夏の電力不足に対応するため、市の関係施設は、使用電力二〇%以上の削減を目標に節電対策を実施することとしました。具体的対策は、事務室の照明二五%以上の消灯、自動ドアの一部停止、日中の供用スペースの原則全消灯、空調の原則停止、冷房の設定温度二十八度の徹底、パソコンの省エネモード設定等を実施することとしました。今後国の節電実行基本方針を踏まえ、節電対策の必要性を全職員に周知徹底を図りながら節電対策を進めていきたいと考えています。



節電対策の一助となっている市役所に設置した太陽光発電設備